

入札が不調に終わったときはやり直しが原則だ 「随意契約に移行する場合の根拠、基準を示せ」と追及



9月13日、14日と市議会総務常任委員会が開催されました。主な議案は2015年度の一般会計決算や本年度一般会計の補正予算です。

一番時間がかかったのは昨年度の決算審査です。

この審査の中で私は、入札不調後の対応、職員の労働安全

衛生、ホームページにおける記者会見の掲載、行政監査など監査委員の活動、「越五の国」の連携、平行在来線対策、水族博物館の運営、交通安全対策、冬期保安要員設置事業、非核友好都市宣言推進事業、ふるさと交流、地域振興事業等を取りあげました。今号ではそのうちのいくつかを報告します。

まずは公共工事などの入札問題です。下の表をごらんください。これは一昨年度と昨年度の入札結果をまとめたものです。問題となつて入札不調後の随意契約については一昨年度が17件、昨年度が13件もありました。

昨年度は、入札不調が26件でした。そのうち、「随意契約に移行したもの」13件、「改めて入札を実施したもの」が13件となつたことから、私はこの2つにわたる基準、考え方について明確にするようせまりました。

担当課長の答弁では、「随意契約に移行する基準としては市の内規として定めている。予定価格と最低応札価格の差がおおむね10%以内で、かつ再度、公告入札にふすと適正工期の確保が困難となる場合としていて、案件ごとに総

合的に判断している」とのことでした。

私は「再入札が原則だ。やむをえず隋契に持つていくなら、内規は文書化すべきではないか」と主張しました。池田財務部長は、「事務要領として整備していきたい」と答えました。

記者会見、HP公開は速やかに

現在、上越市では市長の記者会見が市議会の

定例会ごとに行われていきます。そのほかにも記者との懇談会も行われていま

す。この記者会見などの模様は市のホームページ（HP）に公開

されていますが、公開までの時間が長く、市民等から「おかし

い。もっと早くすべきだ」などの声が上がっています。わたしはこうした声に基づいて

項目	平成26年度	平成27年度	比較増減
落札等決定件数（随意契約を含む）	598	522	△76
1回目の入札・見積りで決定	549	478	△71
再入札（2回目）等で決定	21	22	1
再再入札（3回目）等で決定	11	9	△2
入札不調後、最低応札者と随意契約	17	13	△4
入札不調・中止件数	33	26	△7
うち随意契約に移行したもの（再掲）	17	13	△4
うち改めて入札を実施したもの（再掲）	16	13	△3
うち事業を中止したもの	0	0	0



【オトコエシ】オミナエシ科の多年草。漢字で「男郎花」と書きます。8月から10月に白い花を咲かせます。いま、日当たりの良い道ばた、林の中など、けっこうあちこちに咲いています。

て、質問を展開しました。担当課長は、「かつては会見から22、23日かかっていたが、いまは14日以内にアップできるようになった」とのべていました。それでも長すぎますね。こうした情報は古くなればなるほど読む人は少なくなり、市担当課としては、「より分かりやすく」するために編集作業に時間を費やしているようですが、そもそも会見内容はあるまま公開するのが基本ではないでしょうか。記者会見後、速やかにアップするように改善してほしいものです。

戦争体験の掘り起こし、いまこそ

非核友好都市宣言推進事業では昨年度が戦後70周年であり、非核友好都市宣言20周年でもあることから、様々な取組が行われました。



こうしたなかで、上越市戦争体験談集の一部を朗読グループの皆さんの力を借りて有線放送が取り組んだCD作成とその中身について、私の方から紹介し、改めて、いまの時点での戦争体験の掘り起こしの重要性を指摘しました。今後、新たな取り組みがはじまることを期待したいと思います。

私の一般質問は23日の午後の予定です。傍聴にお出かけを！

はしづめ法一の活動レポート

No.1774 2016.9.18
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見たある記」はこちら

 橋爪法一 検索

春よ来い

第四二二回 声の便り

手紙、はがきの便りもうれしいけれど「声の便り」もいいものです。特に高齢になって、手紙を書くことがきつくなっている人にはいいようです。

八月の中旬、高崎市にすむ従姉（いとこ）の家での出来事です。伊勢崎市に住む従兄（いとこ）と三人でお昼を食べることにしました。注文したそばが配達されるまで、久しぶりの再会を喜び、家族のこと、親戚のことなどが話題になりました。

たぶんわが家の母のことが話に出てきてその気持ちになったのでしよう、ふと、家に電話をしてみたくなりました。

「もしもし、バチャカ。おれ、いま高崎んちに世話になつてゐるがど」

そう言つてから、スマートフォン（高機能携帯電話）を従姉に渡すと、従姉と母の会話が始まりました。「まあ、ヨウコさんかね」と母のはずんだ声が聞こえてきました。

懐かしい人の声が突然聞こえてきて、今回も母は驚いたようですが、携帯電話を使つて母に「声の便り」を伝えたり、逆に母からの「声の便り」を兄弟や親戚の人など届けたりしたのは一〇年ほど前からです。

私がいまでも鮮明に記憶しているのは、父が入院していた病院の病室から母にかけた電話を使つて母の「声の便り」を父に伝えた時のことです。電話を父の耳のところを持つて行き、「トチャ、元気かね。また見舞いに行くすけね」などといった母の声を届けました。すでに会話ができなくなった父が母の声を聞いて、喜んでくれたことは言うまでもありません。

二分ほど母と従姉の話が続いた後、携帯は伊勢崎の従兄に渡されました。私には母が電話機のそばの椅子にちよこんと座つてニコニコしている様子が浮かびます。再び母の喜ぶ声が聞こえてきました。

二人のいとこは戦時中、尾神岳のふもとにあつたわが家に疎開したことがあり、わが家には特別の思いがあります。私が生まれてからも毎年のようにお盆泊まりに来てくれました。二人とも高齢となつて、わが家に来る回数は減りましたが、それでも三、四年に一回くらいはわが家に来ています。

いとこたちがわが家に来てきた時の楽しみは尾神岳などのなつかしい風景を見ること、一緒に疎開時代を過ごした人たちの様子を聞くこと、そして母の手づくりの料理を食べることでした。

母との電話が終わつたあと私たちは、母の声を直接聞いて安心したようでした。

「おばあちゃん、元気じゃない」

「まだまだしつかりしてるよ」

私は「まあまあだね。物忘れは進んだけど」と答えましたが、突然の母からの「声の便り」は二人へのプレゼントになりました。

母のことが話題になつてゐる時に、高崎の従姉は自分の携帯電話を使つて会話を始めました。電話の相手は従姉がいま一番かわいがつてゐる孫のHちゃんでした。おやおやと思つていたら、従姉が急に携帯電話を私に差し出しました。びっくりしましたね。従姉も孫からの「声の便り」を私にプレゼントしたかったのです。

Hちゃんは昨年の秋、私の母に会いたいというので従姉とともにわが家に来てくれました。尾神岳に登つて野の花を観察したり、サルナシの実をさがしたりして大満足していました。Hちゃんの元気な声を聞き、私は言いました。「また新潟にお出で！」と。



交通安全指導員をめぐる活発な議論…総務委

14日の総務常任委員会の昨年度決算審査の中で活発な議論になったことのひとつは交通安全指導員についてです。

すでに市は今年度末をもって指導員制度をなくし、新たな制度に移行することを表明していますが、議会では制度の存続を求める声が強く出されました。

私は、市長が6月議会答弁で「交通安全指導員の業務を少し大きく広げていきながら、防犯とか防災、そういうものにもかかわるようなものを何か考えられないか、それともボランティアの皆さんの保険加入にもそのことの財をうまく分配できないかとか（中略）今までやっていただいている皆さん、またこれからもやりたいという、やろうという意欲に燃えている皆さんと、職務の内容を含めて、地域での子供を見守る、そのことの中で一番いい形を考えながら検討していくことにな

らな」といふべつてゐることをあげ、指導員制度を生かしつつ、発展させた新たな制度を作るべきだと主張しました。担当課は、「指導員のなかには40数年やっておられる人もいるが、高齢化が進んで後継者のいないところもある。安全教育アドバイザーという制度をいま検討中だ」と答えました。これに対し他の委員からも、「交通安全がおろそかにならないか。交通安全に特化した方がいい」などの異論が相次ぎました。

市では12月までに新たな制度案を示すとしたので、12月議会はこの問題で再び大きな議論となりそうです。



秋の空にはコスモスが似合います（東田中）

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16 μ Sv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	9月7日(水)	9月14日(水)
上越南消防署	0.040	0.037
上越北消防署	0.057	0.057
新井消防署	0.057	0.050
頸北消防署	0.047	0.047
頸南消防署	0.047	0.043
東頸消防署	0.047	0.050
高士分遣所	0.047	0.053
名立分遣所	0.053	0.053